

令和4年度「まちづくりオープンミーティング」の実施状況について

1 テーマと目的

テーマ 対象小学校区におけるよりよい教育環境のあり方

目的 子育て世代との直接対話により、地域特有の状況や意見を把握し、教育に係る施策や事業など市政の参考とする。

2 市出席者

市長、教育長

3 実施地区及び実施日並びに参加者数

	東神吉南小	志方東小	東神吉小	志方小	志方西小
実施日	11/3(木祝)	11/19(土)	11/23(水祝)	11/26(土)	12/17(土)
参加者数	17	35	11	13	22
内訳					
(保護者)	(11)	(11)	(9)	(5)	(1)
(地域)	(5)	(23)	(1)	(7)	(15)
(傍聴)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(Zoom)	-	-	-	-	(5)

※志方西小のみ Zoom によるリモート参加を実施

(参考) 子どもの人数

	東神吉南小	志方東小	東神吉小	志方小	志方西小
就学前子ども	385	50	145	131	62
小学校児童	451	71	178	183	114
合計	836	121	323	314	176

4 説明内容

- ・対象地域の児童生徒数の見直し
- ・対象小学校の特色、魅力
- ・小規模校のメリット・デメリット
- ・学校規模維持の例示(学校間の連携強化、小規模特認校の導入)
- ・学校規模拡大の例示(小中一貫校、学校の統合)

5 参加者の主な意見

東神吉地区

【保護者】

- 2つの学校を維持し続けていくのはメリットが少ないのではないかと考える。小学校の時期は一定の規模で集団生活、環境に順応していく大事な時期だと考える。
- 東神吉地区は2小学校が近い距離にあるので、統廃合しやすいのではないかと思う。

志方地区

【保護者】

- 子どもの成長を踏まえると、人数が少ない中ではデメリットがあると感じるため、早く統廃合を進めてほしい。
- 学校規模を考えれば統廃合はやむを得ないと思う。
- 子どもの数が減少している現状のままでは良くないと思う。人数が少ないと様々な考えにふれる機会が少なく、様々な子どもとふれあうことが子どもの成長に繋がると思う。
- 統廃合となった際に、地域との連携が崩れてしまうことが心配である。

【地域】

- 小規模校では少人数が故に一人一人が見え、子ども同士の心が通じていると感じる。そのような小規模校のいい部分をもっと発信してほしい。
- 小規模校は先生が一人一人の子どもの事を良く分かってくれている。他者と競争する力は育ちにくいかもしれないが、ここぞという時に頑張れる力は育っていると思っている。様々な育ち方をゆったり見守る環境も必要ではないか。

その他の意見

【東神吉地区】

- 今後もこのような議論できる機会を設けてほしい。

【志方地区】

- 志方地区と神吉地区の統合等も考える必要があるのでは。
- 行政と相談しながら地域全体でこの地区の将来を考えていかなければならない。
- 様々な方の意見を聞いて、時間をかけてゆっくり考えるべきである。

以上